

【2023年上半期の救急統計について】

2023年上半期の救急統計（速報値）を取りまとめましたので公表します。

※ 速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する場合があります。

※ 小数点を含む数値は、割合（％）については小数点第二位、平均値は小数点第一位を四捨五入して表記しています。

※ 平均値は、2018年から2022年までの5年間の数値の算術平均です。

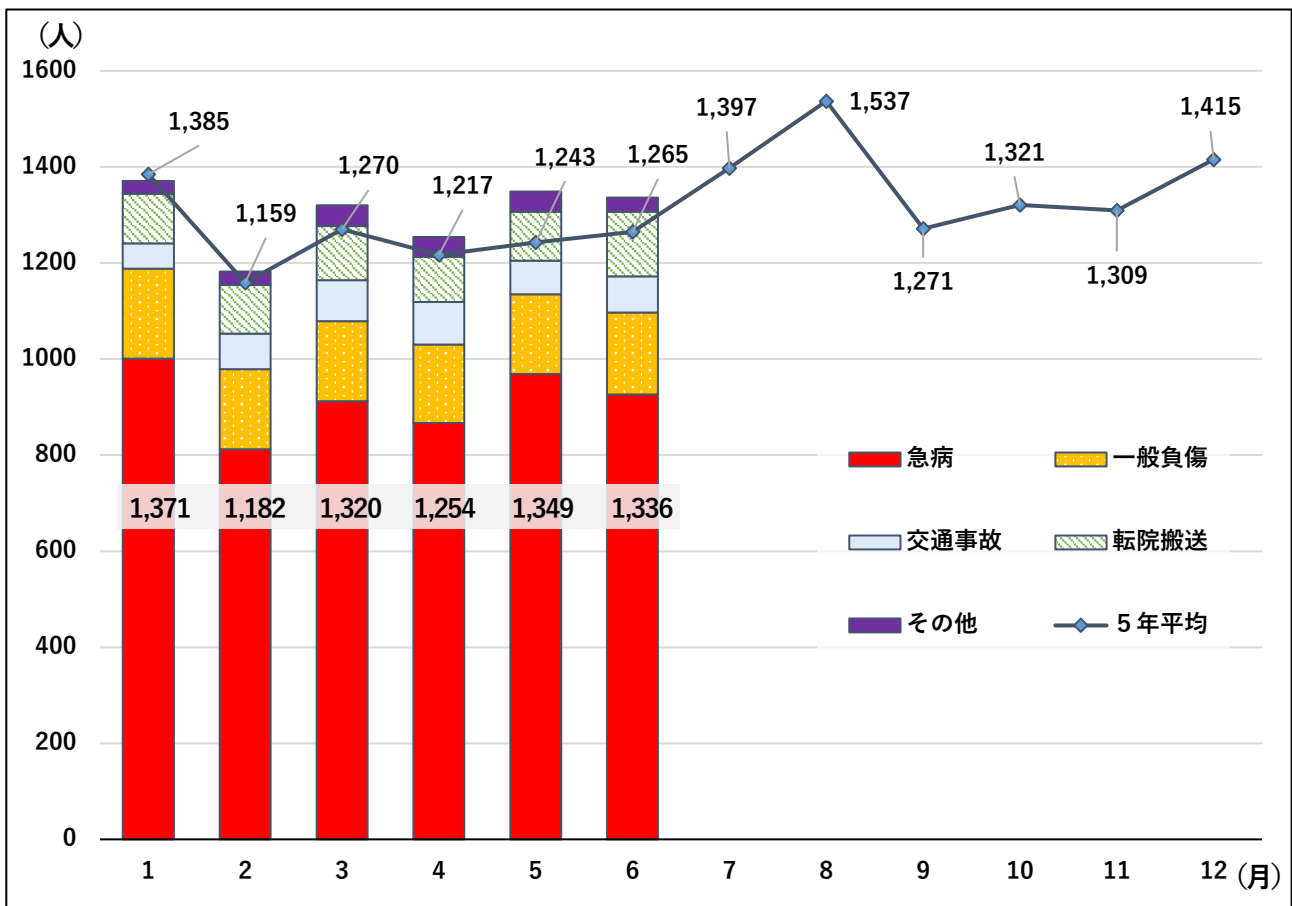
1 月別救急搬送人員

2023年上半期の救急搬送人員は7,812人で、過去5年間の同期間の平均値7,539人と比較すると273人（3.6％）増加しました。

月別でみると1月を除きすべての月で平均値を上回りました。

以下、「急病」「一般負傷」「交通事故」「転院搬送」「その他」（「運動競技事故」「労災事故」「自損」）の各項目の推移を示します。

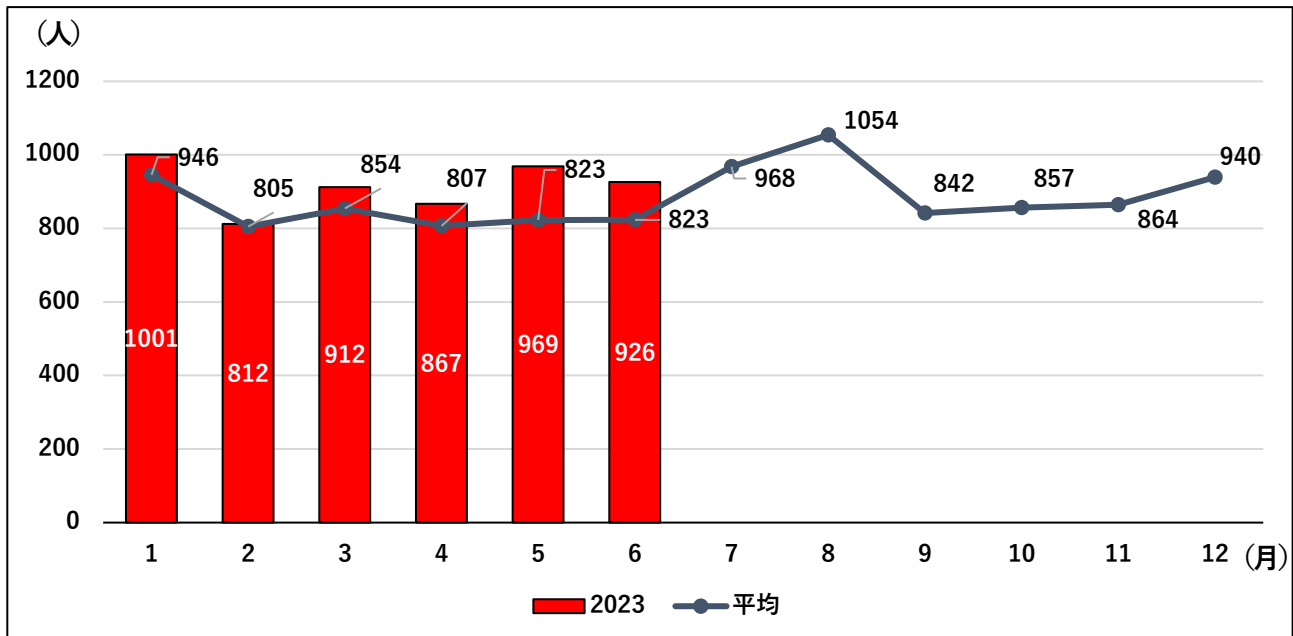
※ 「その他」のうち、「火災」「加害」「医師搬送」などは数が少ないため割愛します。



(1) 急病

2023年上半期の急病による救急搬送人員は5,487人となり、平均値5,058人と比較すると429人(8.5%)増加しました。

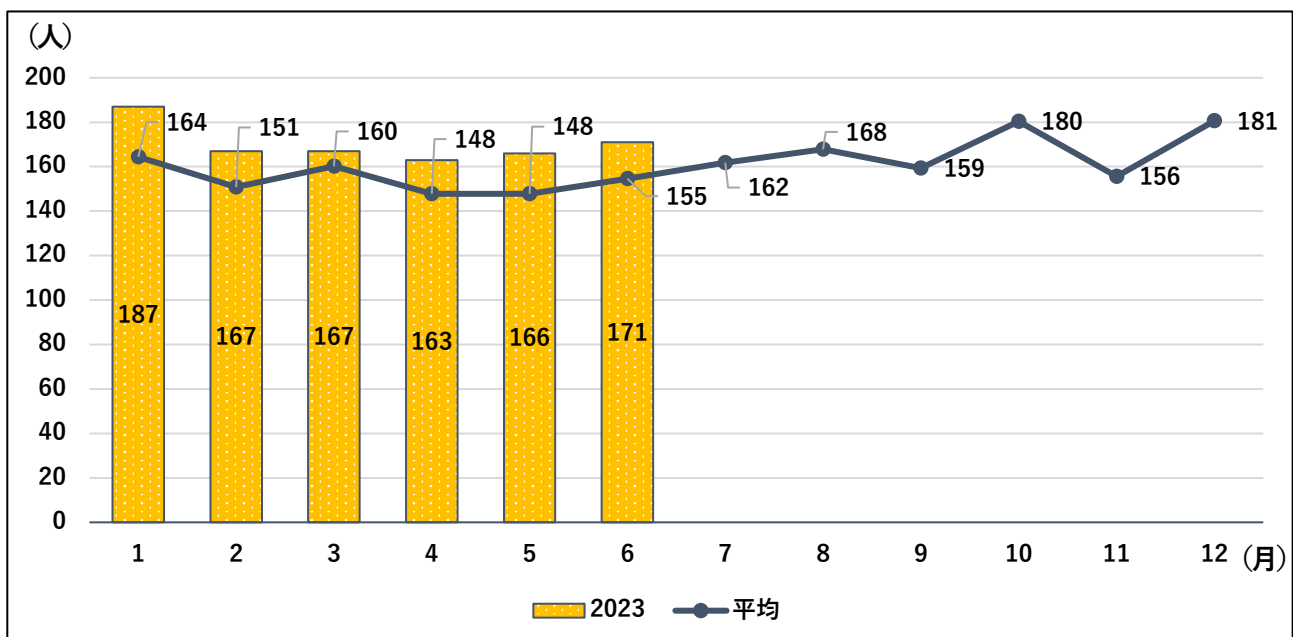
月別にみると、すべての月で平均値を上回りました。



(2) 一般負傷

2023年上半期の一般負傷による救急搬送人員は1,021人となり、平均値926人と比較すると95人(10.3%)増加しました。

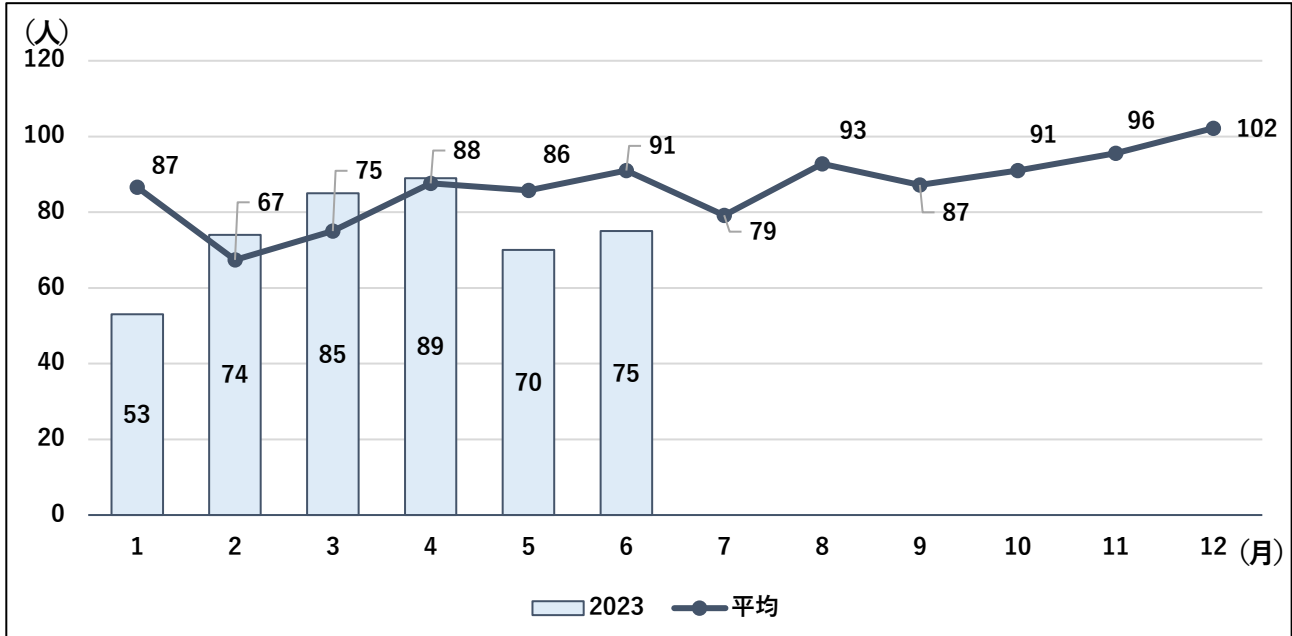
月別にみると、すべての月で平均値を上回りました。



(3) 交通事故

2023年上半期の交通事故による救急搬送人員は446人となり、平均値494人と比較すると48人(9.7%)減少しました。

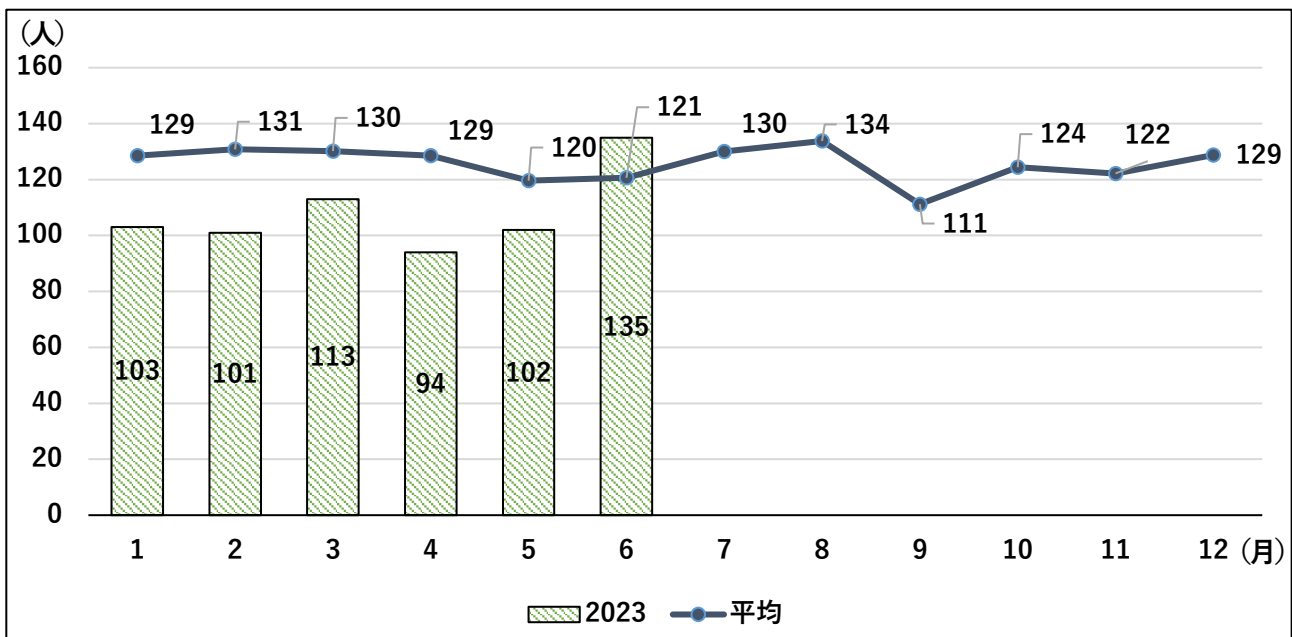
月別にみると、1月、5月及び6月で平均値を下回りました。



(4) 転院搬送

2023年上半期の転院搬送による救急搬送人員は648人となり、平均値760人と比較すると112人(14.7%)減少しました。

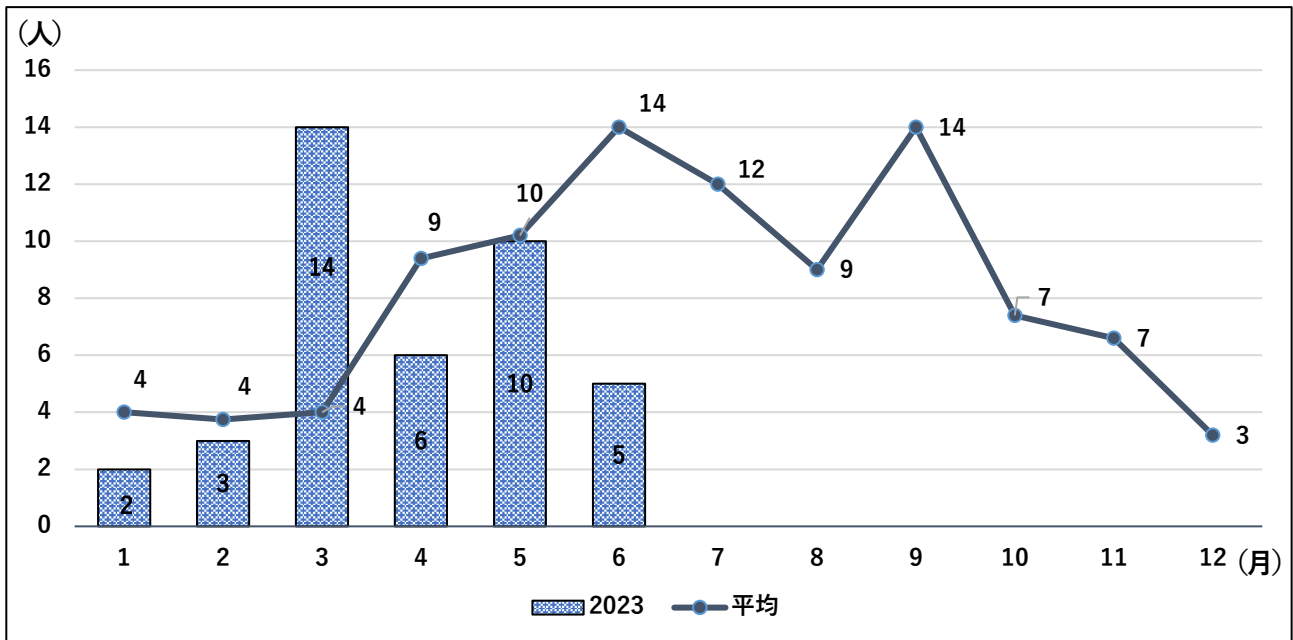
月別にみると、6月を除きすべての月で平均値を下回りました。



(5) 運動競技事故

2023 年上半期の運動競技事故による救急搬送人員は 40 人となり、平均値 45 人と比較すると 5 人 (11.1%) 減少しました。

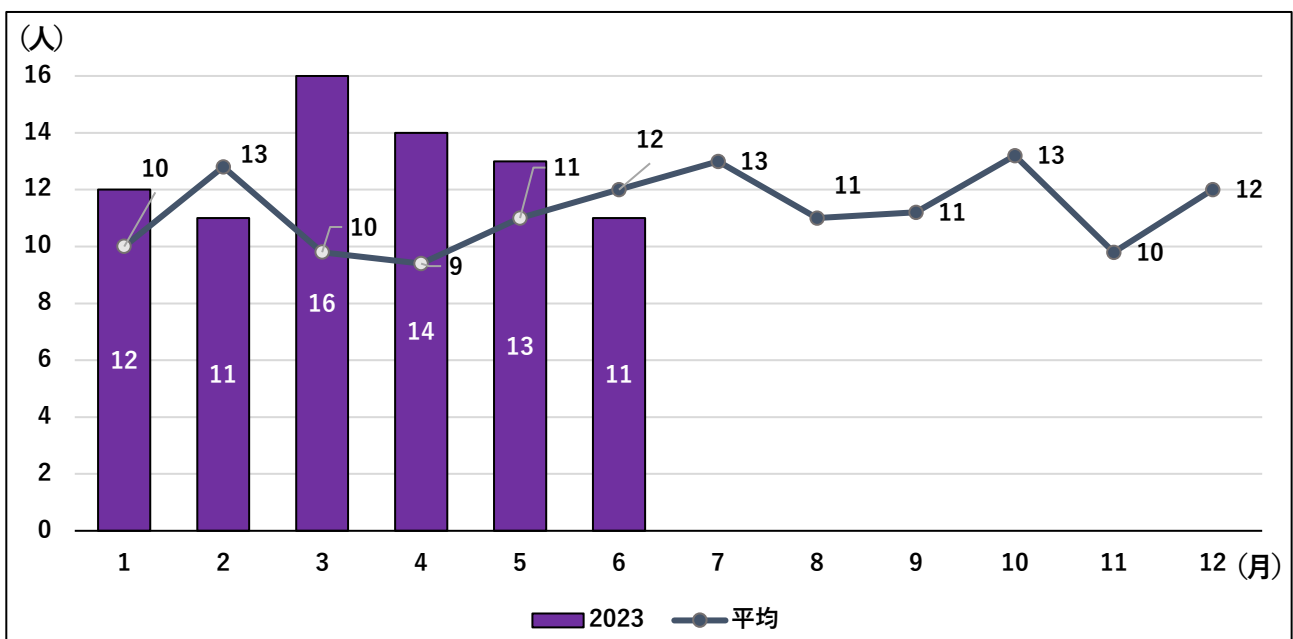
月別にみると、3 月は平均値を上回り、5 月は平均値と同じ 10 人で、それ以外は平均値を下回りました。



(6) 労災事故

2023 年上半期の労災事故による救急搬送人員は 77 人となり、平均値 65 人と比較すると 12 人 (18.5%) 増加しました。

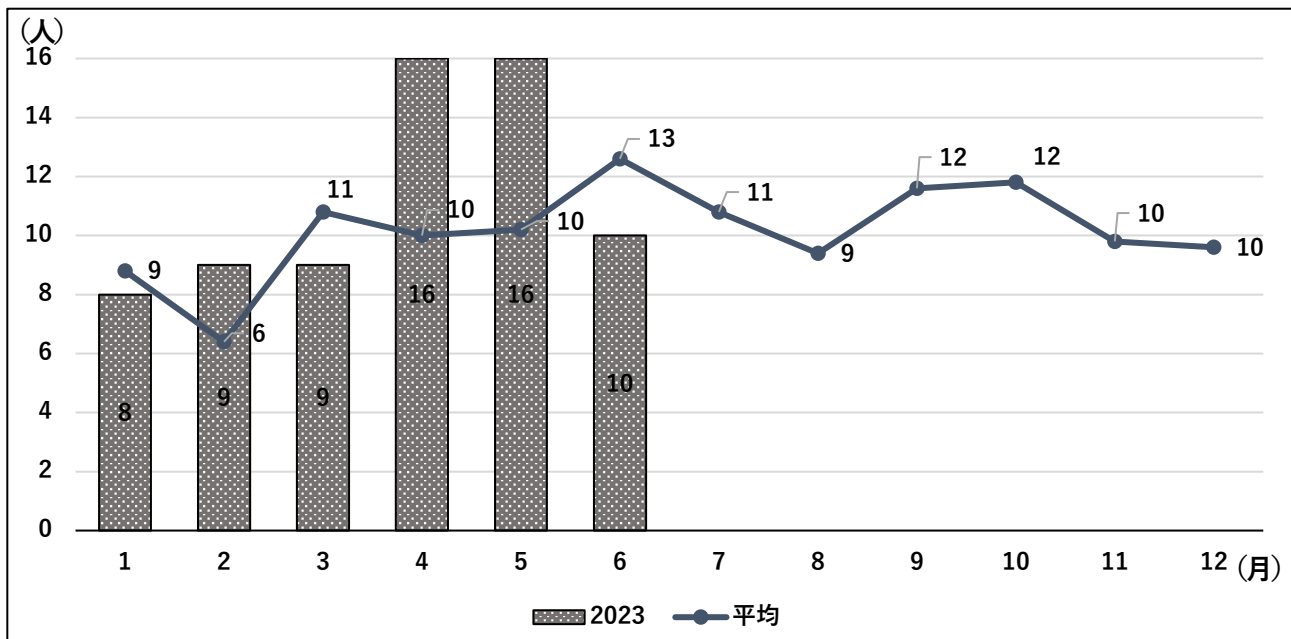
月別にみると、2 月と 6 月は平均値を下回り、それ以外は平均値を上回りました。



(7) 自損

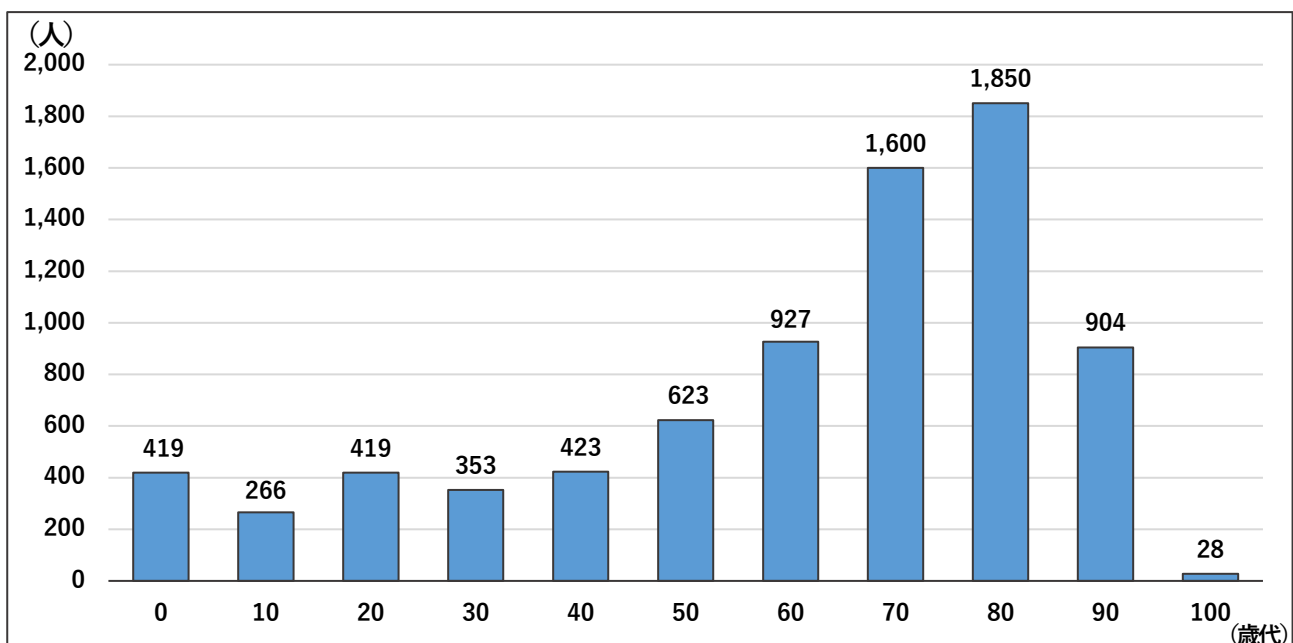
2023年上半期の自損による救急搬送人員は68人となり、平均値59人と比較すると9人(15.3%)増加しました。

月別にみると、1月、3月及び6月は平均値を下回り、それ以外は平均値を上回りました。



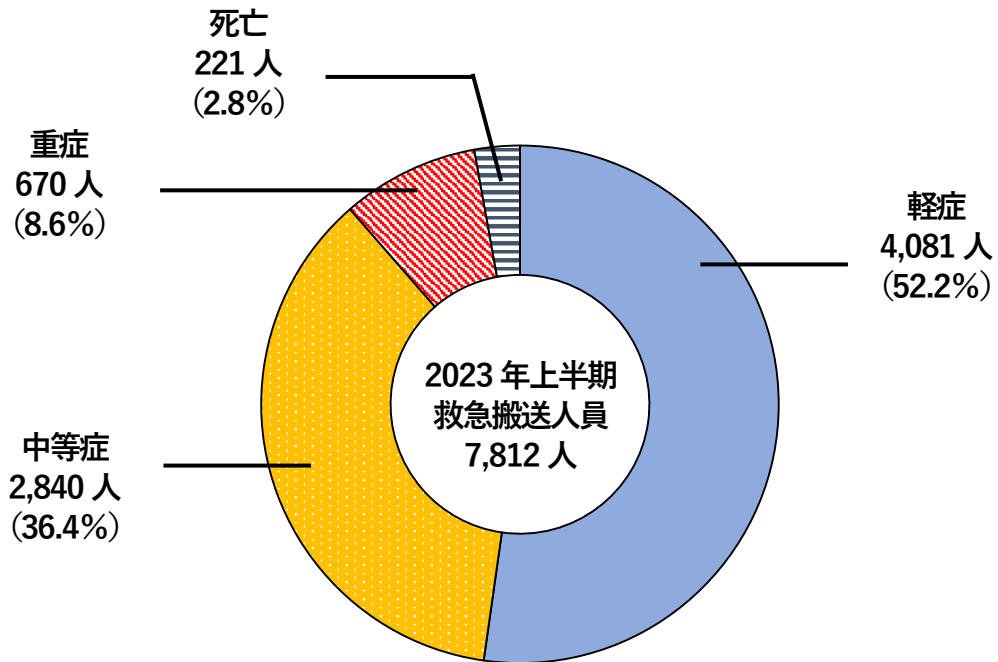
2 年代別搬送人員

2023年上半期の救急搬送人員を年代別で見ると、80歳代が1,850人(23.7%)と最も多く、次いで70歳代が1,600人(20.5%)と続きます。



3 傷病程度別搬送人員

2023年上半期の救急搬送人員 7,812 人を傷病程度別にみると、軽症が 4,081 人（52.2%）と半数以上を占めていることがわかります。



以上